

ぴたっ!とあいち

2017
第15号



・ご挨拶

公益社団法人 愛知県理学療法士会
代表理事 鳥山 喜之

・公益事業活動紹介

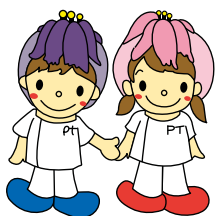
- ・第19回国際福祉健康産業展
／ウェルフェア2016
- ・愛知県介護予防推進キャンペーン2016.7.7.17
こどもの福祉機器展
- ・チャレンジドフェア2016ご報告
／2017ご案内
- ・風船バレーボール大会開催！
- ・地域住民への健康増進支援開催！
- ・スポーツ障がい予防教室開催！
- ・地域リハビリテーション推進事業

・理学療法って知っていますか？ 理学療法って何だろう？

・市民公開講座 ご案内

第26回 愛知県理学療法学会大会

テーマ…理学療法の本質と未来予想図
～理学療法を創造する～



ピー太君とピー子ちゃん
※公益社団法人 愛知県理学療法士会
マスコット



ご挨拶



公益社団法人 愛知県理学療法士会
代表理事 鳥山喜之

わが国は少子高齢化という深刻な問題で、平成22(2010)年の日本の総人口は1億2,806万人で、平成60(2048)年には1億人を割って9,913万人となり、平成72(2060)年には8,674万人になるといわれています。65歳以上の高齢者の割合は、平成22(2010)年現在の4人に1人から、平成47(2035)年に3人に1人を上回り、50年後の平成72(2060)年には2.5人に1人と超高齢化社会を迎えようとしています。「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」によると、「介護や福祉サービス」と「高齢者向けの住宅」を重視する人が増加。身体機能が低下して介助が必要となった場合でも、自宅に留まりたい人が7割弱もいます。その一方、大都市部での独居老人が増加、孤独死などの社会問題も発生しています。

我々理学療法士は、急性期病院や回復期リハビリテーション病院をはじめ、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなど、リハビリテーションを提供する事により、「人間の生き方や社会と深く関わる」仕事をしています。また、障がい児、障がい者の社会参加や地域の人々がもっと元気で長生きできる社会を作る「ウェルフェア事業の参加、風船バレーボール大会、スポーツ障がい予防

講座の開催、小児領域地域リハビリテーション連続講座、並びに、こどもの福祉機器展(チャレンジドフェア)」等の社会活動を行っております。最近では、児童デイサービス・放課後等デイサービスといった小児リハビリテーションに取り組む理学療法士もいます。地域包括ケアシステムの構築の中、医療リハビリテーション専門職として地域リハビリテーションの推進、地域医療・介護の連携ならびに介護予防における理学療法士の活躍を期待されていること痛切に感じます。

法人の社会的存在として、最低限の法令遵守や社会的貢献といった責任を果たすだけでなく、住民や地域、社会の顕在的・潜在的な要請に応え、より高次の社会貢献や配慮、情報公開や交流を自主的に行わなければなりません。そのために、事業目的を明確にし、健全で継続した法人の運営に心掛けていく所存です。



第19回 国際福祉健康産業展 『ウェルフェア 2016』

公益社団法人
愛知県理学療法士会
社会部 石田智大

国際福祉健康産業展「ウェルフェア」は、高齢者や障がい者の生活を支援する製品やサービスを幅広く紹介する、福祉・健康産業展としては中部地区最大級の催しで、毎年ポートメッセ名古屋（名古屋市国際展示場）にて開催されています。

今回も名古屋市（名古屋国際見本委員会）からの出展依頼を受け、6月2日（木）～6月4日（土）の3日間出展させていただきました。

今回のウェルフェア2016には、1日に2万人を超える来場者があり、3日間で73,881人に上りました。愛知県理学療法士会の出展ブースにおいても、3日間で750人の方に来ていただき、ブース内は子供

から高齢者まで、多くの方で賑わいました。

出展ブースでは、「体力測定と運動・生活指導」、および「療育・健康・介護予防等の個別相談会」を実施しました。「体力測定と運動・生活指導」では、柔軟性、筋力、バランス能力を測定し、その結果を基に、理学療法士が現在の身体機能、今後の運動・生活についての指導を行いました。参加された方々は真剣に体力測定に取り組まれ、指導にも熱心に耳を傾けておられました。なかには時間が足りないほどいくつもの疑問を投げかけて下さる方もみえました。「療育・健康・介護予防等の個別相談会」では、ご本人はもとよりご家

族の保健・医療・福祉のことや、私たち理学療法士の職業に対することなど、ご質問いただきました。

毎年ウェルフェアに出展するたびに、来場される方々の、健康・身体能力に対する関心の高さを感じます。「体力測定と運動・生活指導」に毎年参加していただける方もおられ、“毎年楽しんでいる”という声もいただきました。今後も県民の皆様に貢献できるような公益・社会貢献事業等の活動を行っていきたいと考えております。

今回の企画に多くの方々のご協力、ご参加をいただきましてありがとうございました。心より御礼申し上げます。

愛知県介護予防推進キャンペーン 2016.7.17

今年で第3回目となる介護予防推進キャンペーンを、アピタ長久手店にて開催しました。

InBodyを用いた体成分分析は今年も好評で、個々の結果に沿った運動・生活の指導や、健康相談を行いました。参加者からは「次はいつ開催されるの?」「もっとやってもらい

たい!」など嬉しいお声を頂きました。当日は、200名以上の方に参加して頂き、一般の方の健康や介護予防に対する興味の高さを感じる一方で、自身の健康状態にあまり興味を持っていない方もまた多くいらっしゃると感じる場面もあり、どの様にして自身の健康や介護予防について興味を

持ってもらうのか、今後の啓蒙活動についても再考していく必要性を感じました。

今回、新聞に掲載したイベント告知を見て、他市町村からも依頼のお声を頂いております。今後も地域での活動を通し、理学療法士を広く知って頂きながら、介護予防の輪を広げて行きたいです。



こどもの福祉機器展 ～チャレンジフェア2016～

平成28年3月5日(土)6日(日)、あいち健康プラザにて「こどもの福祉機器展～チャレンジフェア2016～」を開催いたしました。

こどもに特化した機器展として継続し、今年で10回目となりました。来場者は本人と家族以外にリハビリ職、福祉職員、学校教員など多くの方が集まり2日間で約1000名を数えました。出展企業は30社となり、車椅子、姿勢保持具、歩行器、食器やエプロン等の生活用具、介護用食品、介護用リフト、マットレスなど、多くの展示品が出展されました。同時開催セミナー「こどもに車いすを合わせる時のチェックポイント」も好評でした。

機器展の魅力は、いろいろなメーカーさんと直接話ができること、福祉用具が試乗・体験でき、購入の際の参考にできることと多くの来場者から感想をいただいています。

愛知県理学療法士会小児福祉部では、機器展などの事業の開催を通して、障がいのある子どもとご家族が、地域の中で快適に過ごせることや、社会参加の機会が得られることに役立てるよう、今後も努めてまいります。

来年は、3月11日(土)12日(日)に開催の予定です。実際の福祉機器を、見に、知りに、試しに、是非ご来場ください。



ご案内

こどもの 福祉機器展 ～チャレンジフェア 2017～ 見たい! 知りたい! 試したい!



日時

平成29年 **3月11日(土)・12日(日)**
10:00～16:00

場所

あいち健康プラザ プラザホール
愛知県知多郡東浦町森岡字源吾1-1
TEL 0562-82-0211

交通
機関

JR大府駅西口から知多バス12分
「あいち健康プラザ」下車
知多半島道路「大府東海IC」から10分

お問い合わせ先

愛知県心身障害コロニーこばと学園
リハビリテーション科 鵜飼宏和
愛知県春日井市神屋町713-8
TEL 0568-88-0811
E-mail hirokazu_ukai@yahoo.co.jp

風船バレーボール大会開催！

平成28年10月6日(木) 愛知県風船バレーボール大会(於：日本ガイシホール)を開催しました。本大会は、高齢者および障がい者の社会参加促進を目的に、隔年開催しています。今年度は、19チームの出場申し込みがあり、どの試合も熱戦が繰り広げられました。久しぶりに競技で競い合う姿は、真剣そのものでした。また、応援下さるスタッフの皆様もユニークなユニフォームや工夫を凝らした応援で



大会を大いに盛り上げて下さいました。



地域住民への健康増進支援開催！

平成28年10月22日(土) セカンドライフフェスティバル(於：半田市さくら小学校)において、一般参加者の方々の体力測定(脚力、柔軟性、バランス能力など)を行い、記録を元に運動指導・助言を行いました。理学療法士が臨床で培った運動アドバイスを行うことで、県民の健康増進、健康教育に貢献できるようこのような活動を継続していきます。



スポーツ傷がい予防教室開催！

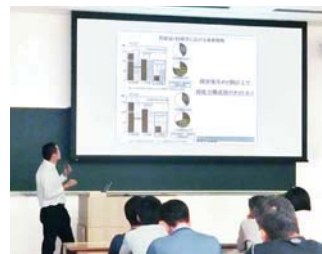
地域のスポーツ選手や、指導者、保護者の方を対象に名古屋、春日井市、尾張旭市、長久手市、豊橋市などの各地域でスポーツ傷がい予防講座を開催しています。また毎年、春夏の愛知県高校野球大会のメディカルサポートも行っております。この活動で傷がい予防の知識を学んで各地で実践されています。



名古屋市



豊橋市



春日井市



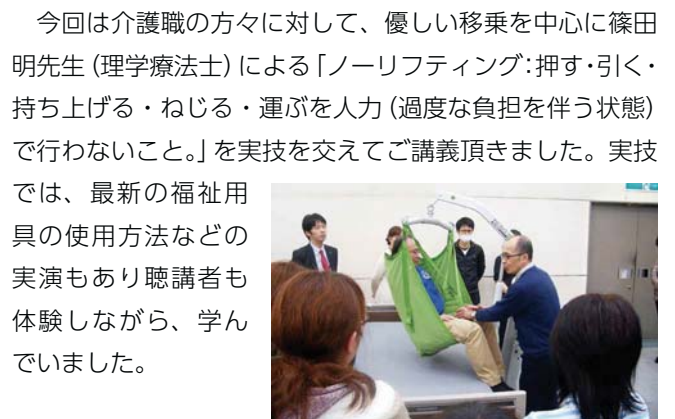
高野連メディカルサポート

地域リハビリテーション推進事業



地域リハビリテーションの充実、推進を図る為、毎年地域リハビリテーション研修会を開催しています。今回は、平成27年12月12日(土) 名古屋国際会議場に於いて、「身体に優しい移乗方法～ノーリフティングポリシーを通じて」というテーマで研修会を開催しました。

今回は介護職の方々に対して、優しい移乗を中心に篠田明先生(理学療法士)による「ノーリフティング:押す・引く・持ち上げる・ねじる・運ぶを人力(過度な負担を伴う状態)で行わないこと。」を実技を交えてご講義頂きました。実技では、最新の福祉用具の使用方法などの実演もあり聴講者も体験しながら、学んでいました。



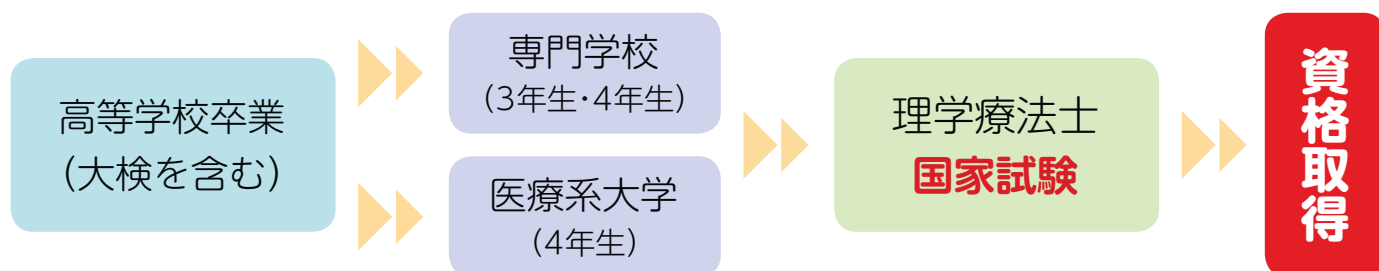


Physical Therapy 理学療法って知っていますか？

理学療法士とは、検査、測定評価に基づき、何らかの疾病・傷がい(スポーツを含む)などに起因する機能・形態障がいに対する運動療法による筋力、関節可動域、協調性といった身体機能、および温熱、水、光線、電気などの物理療法による疼痛、循環などの改善を図る治療科学です。また能力障がいが残ったとき、基本的動

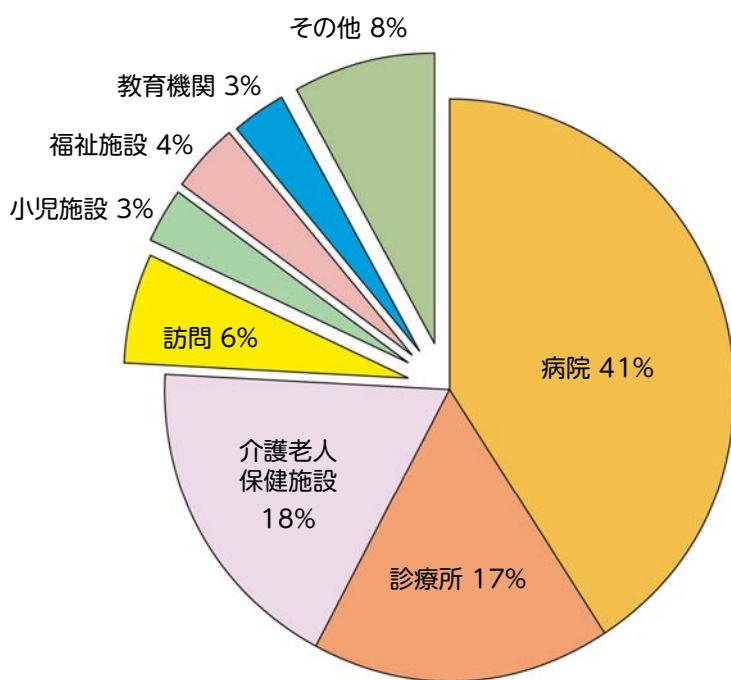
作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障がい予防も理学療法の対象になっています。

どうしたら理学療法士になれるの？



理学療法士はどういう所で働くの？

理学療法士の就職先は、大学病院・一般病院・老人病院・小児病院などの医療施設、老人保健施設や訪問PTなどの医療福祉中間施設、肢体不自由児施設や身体障害者福祉センターなどの福祉施設、養護学校や養成校などの教育・研究施設、行政関係、スポーツ・フィットネスなどの保健関係などです。多種多様なニーズに応じて職域も拡大しています。



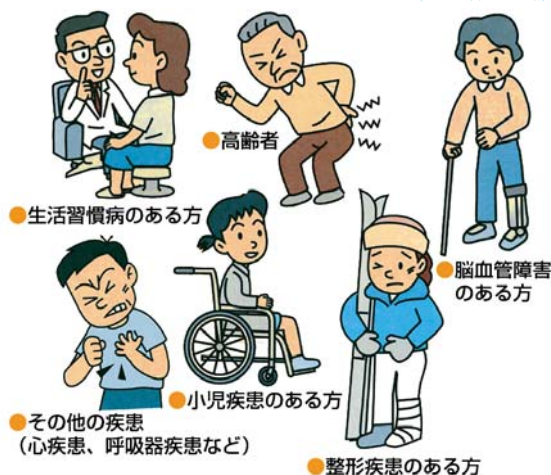
施設別理学療法士就業者数
(愛知県理学療法白書 2007年)

介護保険サービス	通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション 住宅改修・福祉用具のアドバイス
医療サービス	病院・診療所
保健サービス	機能訓練事業、保健センター 介護予防、療育相談
行政サービス	市町村、養護学校など
福祉サービス	障害者福祉センター 障害児(者)通所・入園施設
トータルヘルス プラン事業	健康管理、スポーツ

理学療法ってなんだろう？



理学療法士はどんな人を診るの？



理学療法士は脳卒中・骨折・切断・高齢者・小児疾患・心臓病・呼吸器疾患・糖尿病などが原因で身体を自由に動かせない障がいを持つ「すべての人」を対象としています。

リハビリテーション医学は、予防医学、治療医学に次ぐ**第3の医学**です。

リハビリテーションは、医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など様々な職種と協力して行われます。

リハビリテーションチームの一員である理学療法士は、病気やケガ、寝たきりなどが原因で身体に障がいを受けた人や障がいの発生が予測される人に対して、医師の指示を受けて行うリハビリテーション医療の担い手です。

私たちは自らの手や体あるいは機械を使って障がいの改善や予防、または現状の維持を目的に理学療法を行います。

理学療法士はどんな事をするの？

理学療法士は障がいを持った機能の回復を促したり、歩くことや日常生活の活動の援助を行い社会に復帰するための準備の助けをします。



理学療法士はどんな所で働いているの？



高校卒業後、厚生労働省もしくは文部科学省の定める養成校で学び、卒業時に国家試験受験資格が得られます。

「公益社団法人 日本理学療法士協会」のホームページにアクセスすると全国の養成校一覧を見ることができます。



理学療法士は病院をはじめとする医療施設や介護老人保健施設、保護センターなど様々な所で働いています。近年では、訪問リハビリテーションなどの地域で活躍している理学療法士も増えています。

第26回 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 THE AICHI SOCIETY FOR PHYSICAL THERAPY 愛知県理学療法学会大会

会期 2017年3月5日(日) 大会長 石田 和人 [名古屋大学大学院 医学系研究科]

会場 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

PROGRAM

- 特別シンポジウム** 理学療法の本質と未来予想図 — 理学療法を創造する —
・西野 仁雄 先生(名古屋市立大学 元学長、同名誉教授) ・辻井 洋一郎 先生(名古屋大学医学部 元教授)
- 特別企画** 理学療法と障がい者スポーツの未来予想図 ～リオから東京へ～
・鳥居 昭久 先生(愛知医療学院短期大学)
- シンポジウム** ① 理学療法の国際化と未来予想図 ② 理学療法新規分野の未来予想図 ～保険点数化の実現に向けて～ ③ 神経系理学療法の未来予想図

facebookページ
アクセスQRコード



理学療法の本質と未来予想図

大会事務局: 名古屋大学大学院医学系研究科 〒461-8673 名古屋市中村区大幸南1-1-20

主催: 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会
共催: 公益社団法人 愛知県理学療法士会

運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋市中村区康生通2-26 TEL: 052-508-8510 / FAX: 052-508-8540

E-mail: apta26@cs-oto.com URL: <http://www.cs-oto.com/apta26/>

後援: 愛知県、名古屋市、公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人名古屋市医師会、公益社団法人愛知県看護協会、一般社団法人愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、一般社団法人愛知県医療法人協会、一般社団法人愛知県病院協会、中日新聞社

公益社団法人 愛知県理学療法士会

事務局 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉 1-12-35 1091 ビル9F
ホームページ <http://www.aichi-pt.jp> メールアドレス office@aichi-pt.jp

